おかげさまで、広報ひらいずみ800号

町が昭和30年に創刊した「広報ひらいずみ」は、本号で800号を迎えました。町民生活とともに歩みながら、町民の皆さんの生き生きとした姿や取り組みを紹介、記録してきました。節目を記念して、広報ひらいずみの移り変わりを振り返ります。

これからも地域の元気を伝え、町民同士をつなぐ役割を果たし、皆さんに親しまれる紙面作りに努めます。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

表紙の写真を大きくし、Ａ４判で掲載。当時は20㌻。

▼562号（平成16年５月）

紙面のサイズが、現在のＡ４判となりました。当時は20㌻。

▼441号（平成６年４月）

それまでの白黒から、２色刷りとなりました。当時はＢ４判18㌻。

▼331号（昭和60年４月）

昭和30年４月15日に現在の平泉町が誕生。当時はＢ４判２㌻。

▼創刊号（昭和30年９月）

▲767号（令和３年５月）

この号から全ページがカラー印刷となり、全ての写真が見やすくなりました。

▲766号（令和３年４月）

現在の題字に変更。「平泉」の字は、書道家で町観光大使の武田双雲さんが揮ごうしました。

▲700号（平成27年10月）

創刊から約60年を経て大台に到達。広報紙の役割など記念特集を掲載しました。

▲671号（平成25年５月）

表紙のほか一部ページをカラー印刷とし、紙面構成が現在のものに近付きました。

Interview

広報ひらいずみ774号（令和３年12月号）、783号（４年９月）の表紙に載った

平泉中学校３年　佐藤（さとう）　寧音（ねおん）さん（11区）

広報は毎月読んでいて、家族にも「読んで」と勧められます。表紙に自分が載った号は、保存しています。学校に関係するページのほか、祭りや行事の写真が多く載っていたり、知っている人が写っていたりすると、そのページを特に見ますし、友達との話題に上ることもあります。文字よりも写真が多い紙面だといいなと思っています。

～全国コンクールで評価されています～

自治体の優れた広報紙を表彰する全国広報コンクール（日本広報協会主催）。毎年開催され、県予選を経て出品されます。広報ひらいずみとしては、456号（平成７年７月）が県予選の広報紙部門で３位となって以来、同部門で入賞（２位）した724号（平成29年10月）が初めて全国コンクールに出品され、初入賞。780号（令和４年６月）は、町として全国コンクールで初の「入選」となり、全国でも評価を受けています。

780号（令和４年６月）
令和５年全国広報コンクール（一枚写真部）入選

▲コロナ禍で感染症予防対策を取りながら開催された藤原まつり「源義経公東下り行列」の一場面を撮影しました。

724号（平成29年10月）
平成30年全国広報コンクール（広報紙町村部）佳作

◀町の特産品「黄金メロン」の特徴や生産者の思いなどを10ページにわたって紹介し、魅力に迫りました。

皆さんの手元に届くまで

広報ひらいずみは、毎月1日に発行しています。紙面の大きさや色使い、題字などが時代によって移り変わり、令和3年からは全てのページをカラーで印刷し、見やすさにこだわっています。

広報担当者が町内各地に駆け付け、町民の皆さんや行事を取材。役場内の各部署からお知らせ用の原稿の取りまとめも行い、パソコンの専用ソフトを使って紙面の編集作業に当たっています。

一通り出来上がった紙面は、全職員への回覧を経て修正などを行います。発行日の数日前には編集作業を終え、データを印刷会社に提出。毎月３０００部余りを印刷します。

出来上がった広報紙は、職員が各行政区長さん宅に届けます。区内の班長さんなど多くの皆さんの協力を得ながら、各世帯に届けられています。

担当者のこぼれ話

■パンチ穴を開けています

広報紙を毎月つづって保存してほしいとの思いから、つづり用の穴を開けています。

■「記者ハンドブック」を活用

どの世代も読みやすい内容とするよう、記事は『記者ハンドブック　新聞用字用語集』（共同通信社）を基に執筆。基本的に新聞と同じような表記とし、行政文書の表記とは異なっています。

■広報担当者研修を受講

年に1回、県内市町村の広報担当者が集まる研修会が開催されており、他自治体の事例を学ぶなどして、技術の向上を目指しています。

広報ひらいずみの役割

毎号読んでもらえるよう、連載にも力を入れています。本号で２２２回となる「平泉を掘る」（本号では８㌻）は、世界遺産など多くの貴重な資産を有する当町ならではの企画です。また、本年度初めて町に着任した「地域おこし協力隊」の隊員の活動を、隊員目線で紹介するコーナー（本号では５㌻）も設けています。

人口減少が続く中、町の明るい話題を町民の皆さんで共有し、元気な町にしていくため、広報ひらいずみの果たす役割は増していくと考えています。より皆さんに愛される紙面を目指します。